

## あの人この人

### 子どもとの「ものづくり」の老後



加藤幸一さん（鳥取町）

加藤さんは、群馬大学教育学部で教鞭を取り、退職後は自治会の組長さんで活躍をされました。昭和56年に前橋市に転勤して以来、中学校「技術」の教員養成に係る仕事をしてきました。

その頃から、こどもが家庭や学校、社会の中で「ものづくり」をする機会が少なくなっていくことで、我が国の基盤産業である、ものづくりを支える人材の育成は大丈夫かと心配していたそうです。退職の少し前から、単発の工作やものづくり講座の指導を依頼されるようになり、木材で小箱やラックを、広告紙でアイデアを生かしたタワーや橋を、LED等で電気のおもちゃなどを考えてきました。その中で、子どもは言われるまま製作するより、自分のアイデアが生きる工作を好むことに気づかされたそうです。

また、前橋少年少女発明クラブと前橋市ロボットコンテストの運営に係るようになると、これらの事業が、子どものものでづくりの現状を改善する有効な取り組みであると気づき、今後自身も自身のライフワークとして参画したいと思っています。

うです。

前橋少年少女発明クラブは、交通公園内の児童文化センターで約40名の小中学生が1年間（月に2回）にわたり、前半に基礎技能の習得、後半に発明品の構想・設計・製作をする活動をします。その発明品は、発明工夫展に出展され、中には全国で表彰される作品もあります。指導者は構想・発想の方法は教えますが、子どもの発想にはなるべく立ち入らず、構想を形にするところで支援しているそうです。

まえばしロボコンは、今年度19回目を終え（8月18日実施）、現在20回大会開催に向けて準備を進めています。今年度は、子ども部、中学生部、一般部併せて210チーム516人が参加し、プラ容器を積み上げるゲームに対して創意工夫に富んだロボットで競いました。その様子は新聞、テレビで報道され、多くの観戦者が訪れ大会を盛り上げました。

退職時、身の振り方を考えているときに「退職後は職場のコミュニティが無くなるので、人との係わりがあるコミュニティを作る努力が必要」と教えられたことも、ものづくりに影響しているそうです。

加藤さんは、ものづくり指導を続けるために、趣味のテニスで汗を流したり、放送大学の学生として学びを深めています。授業だけでなく、クラブ活動やゼミなどを通じて人の輪が広がったことが、ものづくり指導にも役立っているそうです。人の役にたち、人の迷惑にならないように過ごしたいと謙遜されていますが、ものづくりに対する強い情熱が伝わってきました。

鳥取町生涯学習奨励員 加藤 正利

## 前橋市立図書館芳賀分館だより

あたりらしく入った本の紹介

### 一般書

著者名

昨日がなければ明日もない

宮部 みゆき

鼠、恋路の闇を照らす

赤川 次郎

それでも空は青い

荻原 浩

あなたの愛人の名前は

島本 理生

静おばあちゃんと要介護探偵

中山 七里

フランス座

ビートたけし

天下普請

稲葉 稔

羅針盤は壊れても

西村 賢太

夜汐

東山 彰良

芙蓉の干城（たて）

松井 今朝子

### 児童書・絵本

風と行く者 「守り人」シリーズ

ノラネコぐんだんと海の果ての怪物

カドこいつた？

ぼく、仮面ライダーになる！ ジオウ編

うみのごちそうしるくま

グレッグのダメ日記さすがに、へとへとだよ

ちびまる子ちゃんのはじめてのクッキングえほん

サバイバルシリーズ（17さつ）

くほかにもたくさん新刊が入りました！

★毎週木曜日は休館日です。

◆蔵書整理休館 1月21日（月）～24日（木）

◆市立図書館、こども図書館、各分館で所蔵する本やCD等は、どこの館でも借りたり返したりすることが出来ます。